



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社池田泉州ホールディングス  
コード番号 8714 URL <http://www.senshuikeda-hd.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 取締役社長兼CEO

(氏名) 服部 盛隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画部長

(氏名) 田原 彰

TEL 06-4802-0013

四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	26,011	△14.2	△3,719	—	△3,145	—
23年3月期第1四半期	30,331	—	1,432	—	3,868	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,990百万円 (△80.5%) 23年3月期第1四半期 15,407百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.64	—
23年3月期第1四半期	3.24	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,000,136	172,304	3.4
23年3月期	4,881,152	176,684	3.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 170,919百万円 23年3月期 175,479百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部の合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	△5.2	3,500	△24.1	3,500	△32.6	2.96
通期	115,000	△1.9	8,000	6.2	8,000	4.0	4.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	1,192,293,163 株	23年3月期	1,192,293,163 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	13,400,698 株	23年3月期	1,008,040 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	1,189,611,254 株	23年3月期1Q	1,192,287,581 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、平成21年10月1日に株式会社池田銀行と株式会社泉州銀行が経営統合し、両行を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。このため、平成23年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率はありません。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第一種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 196円を18.5で 除した額	円 銭 196円を18.5で 除した額
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		—	—	196円を18.5で 除した額	196円を18.5で 除した額

(第二種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 204円を18.5で 除した額	円 銭 204円を18.5で 除した額
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		—	—	204円を18.5で 除した額	204円を18.5で 除した額

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表等 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

※平成24年3月期 第1四半期決算説明資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結決算においては、貸出金利息や有価証券利息などの資金運用収益並びに預かり資産販売による役務取引等収益が増加しましたが、国債等債券売却益の減少により、その他業務収益が減少しました。資金運用収益184億94百万円、役務取引等収益44億円、その他業務収益7億5百万円及びその他経常収益24億11百万円となり、経常収益は、前第1四半期連結累計期間比43億20百万円減少して260億11百万円を計上しました。

また、預金利息などの資金調達費用は減少しましたが、健全性を一層充実させるために不良債権の前倒処理を実施したこと並びに株式等償却が発生したことにより、その他経常費用が増加しました。資金調達費用31億16百万円、役務取引等費用13億15百万円、その他業務費用2億65百万円、営業経費143億44百万円及びその他経常費用106億88百万円となり、経常費用は、前第1四半期連結累計期間比8億32百万円増加して297億30百万円を計上しました。

以上の結果、経常損益は、前第1四半期連結累計期間比51億51百万円減少して37億19百万円の経常損失を計上しました。また、税金等調整前四半期純損益は、前第1四半期連結累計期間に貸倒引当金戻入益などの特別利益の計上があったことから、前第1四半期連結累計期間比74億26百万円減少して38億4百万円の税金等調整前四半期純損失を計上しました。また、法人税等合計並びに少数株主利益を計上後の四半期純損益は、前第1四半期連結累計期間比70億13百万円減少して31億45百万円の四半期純損失を計上しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①預金

預金の当第1四半期連結会計期間末残高は、個人預金・法人預金とも順調に増加し、前第1四半期連結会計期間末比928億円増加して4兆3,820億円となりました。

#### ②貸出金

貸出金の当第1四半期連結会計期間末残高は、事業性貸出を中心に、前第1四半期連結会計期間末比229億円増加して3兆4,413億円となりました。

#### ③有価証券

有価証券の当第1四半期連結会計期間末残高は、前第1四半期連結会計期間末比816億円増加して1兆2,668億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当四半期連結決算においては、不良債権の前倒処理の実施、ならびに株式評価損等により、損失計上となりましたが、預金利回低下等により、預貸収支が拡大するなど本業の業績を示すコア業務純益は、当初の計画通り順調に推移していることから、平成23年5月13日に公表いたしました24年3月期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表等

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	144,348	134,921
買入金銭債権	1,311	1,576
商品有価証券	36	1,041
金銭の信託	19,000	18,914
有価証券	1,077,342	1,266,843
貸出金	3,501,016	3,441,397
外国為替	6,210	4,850
その他資産	62,426	65,186
有形固定資産	38,142	38,027
無形固定資産	5,606	6,328
繰延税金資産	38,999	39,947
支払承諾見返	29,459	28,151
貸倒引当金	△42,748	△47,051
<b>資産の部合計</b>	<b>4,881,152</b>	<b>5,000,136</b>
<b>負債の部</b>		
預金	4,348,871	4,382,028
債券貸借取引受入担保金	172,725	249,234
借入金	44,417	57,121
外国為替	480	314
社債	48,000	48,000
その他負債	50,184	53,681
賞与引当金	1,778	552
退職給付引当金	6,525	6,640
役員退職慰労引当金	386	379
睡眠預金払戻損失引当金	309	309
ポイント引当金	135	134
統合関連損失引当金	717	854
偶発損失引当金	465	418
繰延税金負債	0	0
負ののれん	10	9
支払承諾	29,459	28,151
<b>負債の部合計</b>	<b>4,704,468</b>	<b>4,827,832</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	72,311	72,311
資本剰余金	83,063	83,062
利益剰余金	33,125	23,954
自己株式	△116	△1,493
<b>株主資本合計</b>	<b>188,383</b>	<b>177,835</b>
その他有価証券評価差額金	△12,884	△6,907
繰延ヘッジ損益	△19	△8
その他の包括利益累計額合計	△12,904	△6,915
新株予約権	6	38
少数株主持分	1,197	1,346
<b>純資産の部合計</b>	<b>176,684</b>	<b>172,304</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,881,152</b>	<b>5,000,136</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
経常収益	30,331	26,011
資金運用収益	18,134	18,494
(うち貸出金利息)	14,878	14,931
(うち有価証券利息配当金)	3,227	3,522
役務取引等収益	4,144	4,400
その他業務収益	4,283	705
その他経常収益	3,768	2,411
経常費用	28,898	29,730
資金調達費用	3,688	3,116
(うち預金利息)	3,166	2,348
役務取引等費用	1,062	1,315
その他業務費用	423	265
営業経費	14,377	14,344
その他経常費用	9,346	10,688
経常利益又は経常損失(△)	1,432	△3,719
特別利益	2,304	—
償却債権取立益	360	—
貸倒引当金戻入益	1,944	—
特別損失	114	85
固定資産処分損	40	85
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	74	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,622	△3,804
法人税、住民税及び事業税	198	244
法人税等調整額	△337	△1,050
法人税等合計	△139	△805
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	3,761	△2,998
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△106	146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,868	△3,145

四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	3,761	△2,998
その他の包括利益	11,645	5,989
その他有価証券評価差額金	11,645	5,977
繰延ヘッジ損益	0	11
四半期包括利益	15,407	2,990
親会社株主に係る四半期包括利益	15,514	2,842
少数株主に係る四半期包括利益	△106	148



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、報告セグメントが銀行業のみであり、当社グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」にはリース業務等が含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。